

鎌倉幕府の文書行政と

アーカイブズ研究

講師 明治大学文学部教授
高橋一樹 先生

講演概要

日本の文書学研究において主たる対象とされてきた中世文書は、寺社と武士の家に伝来したアーカイブズが多数をしめています。そのなかには、鎌倉・室町の幕府との授受文書が含まれており、幕府から発給された文書の様式・形式や機能の研究が進んできました。その一方で、文書を発給する幕府組織内部での手続きや関係する書面の生成・保存管理については、まだまだ研究を深める余地があります。

今回の講演では、博物館や文書館などに收藏・寄託されていることの多い武家文書をもとに、その発給プロセスや消滅した幕府アーカイブズの復元的考察を鎌倉幕府に即して試みるとともに、現在の史料学研究をふまえた歴史的アーカイブズからの情報発信についても言及します。

本講演会は、国際公文書館会議（ICA）が2008年に6月9日を「国際アーカイブズの日」として制定したことを記念して、歴史的公文書や古文書などの記録史料（＝アーカイブズ）の大切さを広く会員ならびに県民の皆様にご覧いただくために開催するものです

===本講演会は Web 配信で開催します===

本講演会は事前録画のうえ、YouTube によるアーカイブ配信で行います。限定公開のため視聴にはお申し込みが必要です。以下の参加方法に従って御応募ください。

配信期間 令和4年6月6日（月）～ 令和4年7月31日（日）

対象 どなたでも御応募いただけます。

定員 150名（先着順）

申込期間 5月20日（金）～ 配信終了まで

参加方法 【①氏名、②電話番号】を御記入の上、下記メールアドレスにメールしてください。その際の件名は、「「国際アーカイブズの日」記念講演会申込み」としてください。お申し込みいただいたメールアドレスに、後日講演会視聴用 URL を御返送します。

メールアドレス p6501123@pref.saitama.lg.jp

詳しいお問い合わせは
埼玉県立文書館内埼玉史協事務局
(TEL048-865-0112) まで

～「国際アーカイブズの日」とは～

アーカイブズは、官庁や企業、あるいは個人が残した歴史的な文書や記録のことで、その保存施設（文書館など）の意味にも使います。アーカイブズの国際組織である ICA（国際公文書館会議）は、世界中にアーカイブズの大切さを広く伝えるため、6月9日を「国際アーカイブズの日」と定めて、記念事業をおこなっています。